

1. 施設の利用状況に関する事項

①施設の利用状況

本年度の総来園者数は186,965人となった。対前年度比で98.8%である。冬期間の来園者の落ち込みを新企画イベントで底上げし、2月末段階では前年度累計を上回っていたが、新型コロナウイルス感染防止対策に伴う、3月中の体験・イベント中止を主因に前年割れとなった。来園者の多い月は8月、9月、5月の順である。

教育ファーム関係では、学校は延べ180校、9,774人が来園した。前年度と比較して、利用学校は9校(503人)減少した。小学校の利用割合が最も高く、全体の約83%(149校)を占めている。その他の学校種別では幼・保14園(8%)、中学校10校(6%)、特別支援学校6校(3%)である。学年別では、小学校2年生が最も多く、次いで5年生、4年生の順となった。月別の利用では、5月、6月、9月の利用が多く、3月は新型コロナウイルスにより利用中止となった。宿泊利用の学校は、延べ25校で、全利用学校の14%であった。利用学校の約98%が市内の園・学校であるが、市外・県外から3校の利用があった。なお、初企画としてASPを絵画コンクールに結び付けた「アグリ・アート展」を開催し、295点の応募作品を展示した。

教育ファーム(一般)では、12,763人の受入となり、うち個人利用が8,841人、団体利用は127団体・3,919人であった。前年度と比較して、団体利用が増えた一方で個人利用は減少したが、3月一か月間の体験中止が響き、結果的に全体人数は横ばいとなった。団体利用は子ども会・町内会が最も多く、個人利用者が行った体験内容は、多い順に「餌やり」「ピザ作り」「アイスクリーム作り」「ほ場探検ツアー」であった。今後の課題テーマとして、各体験に繋がりを持たせた農と命のストーリーを感じさせる学習的プログラムを企画する。

食品加工支援業務関係では、農業の6次産業化のベースとなる食品加工の基礎を学ぶための食品加工講座を63回開催し、延べ505人が受講した。試作のための加工室は延べ368回の利用があり、841人が利用した。個別の加工室利用者は82%が農業関係者であった。本年度ではシソ佃煮、桃ジャム等の商品化された製品が33品、ブドウの乾燥などの一次加工品が11品となり、過去最多の商品開発品数となった。技術相談の回数も過去最多で200回を超えた。

就農支援事業では、みらい農業塾に26名が受講し、露地野菜の基本的栽培知識・技術を学んだ。就農相談業務では、相談窓口を常設し、新規相談が8名(新規6名、後継ぎ2名)、就農後の経営相談が2名あった。就農を検討している人を対象とした果樹および野菜栽培体験研修に、果樹2名、野菜1名が受講した。農福連携事業は、9施設延べ51名に、9回(延べ日数27日)にわたり障害者の就労に向けた訓練を実施した。農業者の高齢化や担い手不足など、農業には多くの課題があることから、多様な支援事業展開を継続する必要がある。

宿泊施設には5,111人が宿泊したが、前年度より5.7%減少した。コテージと宿泊棟を合わせた年間稼働率は34.2%で前年度より2.5ポイント低下したが、特に3月は前年の31.0%から11.7%へ大幅に低下した。農産物直売所の来客数は前年度比3.9%減少して売上額は170百万円余となり、前年度より5百万円ほど減少した。農家レストランへの来客数・売上額も前年度と比べ減少した。直売所・レストランともに、9～10月週末の台風等悪天候と新型コロナウイルスによる来園者・宿泊者の減少が大きく影響した。

施設の周知と誘客を図るべく、施設の特色を生かしたイベントをほぼ毎月開催した。特に、周年祭(5月)、収穫祭(10月)、ふるさと祭り(1月)は三大イベントとして位置付け、農村伝統行事の「どんど焼き」を地域コミュニティ協議会と協働して行った。また、元NHKの相田洋氏による農業関連の講演会を実施した。地場企業の農機具メーカーおよび食品メーカーとのコラボイベントを初めて実施し大きな集客に繋がった。今年度来園した視察者数は453人(41団体)と、開業後5年を経過したこともあり、前年度の1,016人(79団体)からほぼ半減した。

ホームページの更新は135回行い、アクセス件数は123,042回と前年度比約1,600件増加したが、新たな広報ツールとしてインスタグラムを開始した。施設維持管理は法令に定められたものを含め適宜実施し、クレームや怪我、物損に対してもトラブルや事故を回避すべく対応した。なお、夏場にヒツジ・ヤギ・牛に大腸菌陽性反応が出たが、獣医および県家畜保健衛生所の指導により対処した。

②来場者数

単位：人

項目	令和元年度	平成30年度	対前年度比
教育ファーム事業（学校）	9,774	10,620	92.0%
教育ファーム事業（一般）	12,763	12,898	99.0%
食品加工支援事業	1,782	2,254	79.1%
就農支援事業	1,122	1,089	103.0%
視察	453	1,016	44.6%
自主事業（その他体験・物販・施設利用等）	14,511	8,628	168.2%
直売所にいがた村	123,029	127,994	96.1%
農家レストラン	23,436	24,102	97.2%
その他	95	911	—
計	186,965	189,512	98.7%

③宿泊

1) 宿泊者数

単位：人

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
学校	757	825	-68	
一般	3,973	4,072	-99	
合計	4,730	4,897	-167	

2) 稼働率について

単位：%

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
コテージ7棟	33.8	35.1	-1.3	
宿泊棟	41.5	46.0	-4.5	
総稼働率	34.7	36.7	-2	

④教育ファーム

1) アグリ・スタディ・プログラム

	R1年度													
	利用合計		幼稚園・保育園			小学校			中学校			養護・高校・大学・学校関係団体等		
	件数	人数	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合
合計	189	9,774	14	455	7%	149	8,044	79%	10	515	5%	16	760	8%
	H30年度													
	利用合計		幼稚園・保育園			小学校			中学校			養護・高校・大学・学校関係団体等		
	件数	人数	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合
合計	208	10,620	22	805	11%	137	7,749	66%	21	1,030	10%	28	1,036	13%
	増減													
	利用合計		幼稚園・保育園			小学校			中学校			養護・高校・大学・学校関係団体等		
	件数	人数	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合
合計	-19	-846	-8	-350	-3%	12	295	13%	-11	-515	-5%	-12	-276	-5%

2) 一般プログラム

単位：人

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
利用人数	12,763	12,898	-135	

⑤就農支援

1) 就農相談

単位：件

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
新規就農	1	6	-5	
その他	11	6	5	

2) 就農研修

項目	R1年度		H30年度		増減		備考
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	
就農研修(実地)	2	3	7	7	-5	-4	体験イベント、業務委託は除く
就農研修(座学)	0	0	16	28	-16	-28	

⑥食品加工支援

項目	R1年度		H30年度		増減		備考
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	
加工支援講座	63	505	69	548	-6	-43	
加工機器利用	368	841	343	744	25	97	

⑦イベント

1) 主催イベント

月	イベント名	参加人数	備考
4	春祭り	47	いちご大福作り体験, いちごショートケーキ作り体験
5	アグリパーク周年祭	279	JR新潟ファーム田植え体験 周年ウオーケラリー とどろけ和太鼓演奏
6	発酵祭り	150	シュールストレミング開封
8	アグリ夏祭り	200	スイカ割体験
9	米祭り	80	JR新潟ファーム稲刈り体験
10	ハロウィーン収穫祭	1,068	ミニジャック・オ・ランタン作り ハロウィーン調理体験 トラクター展示・運転席試乗 ペーパートラクター製作
11	伝統食	80	講演「熱帯農業に夢をかけた人々」クロッカス球 根植え体験 初めてのたくあん漬講座
12	アグリDEクリスマス	3,900	アグリ体験ツアー アグリ・アート展 歳末大感謝祭
1	ふるさと祭り	924	どんど焼き アグリ体験ツアー
2	節分	337	アグリパーク鬼退治 アグリ体験ツアー
3	チューリップ	中止	フラワーアレンジメント体験 ミニ耕運機体験

2) 外部団体等主催イベント

月	イベント名	場所	備考
4	農業機械展示会	アグリパーク圃場等	「キセキ関東甲信越」主催
6	親子農業体験教室	圃場、調理室、体験ハウス	南区役所地域総務課主催
2	鄙潟楽	新潟市アグリパーク	自然栽培の普及のためのイベント

2. 広報

1) 実施内容

媒体等	実施時期	料金	内容等
バス広告	平成30年度	製作・出稿費	南区バス
白根大風合戦への協賛	6月	出稿費	広告協賛
新聞	1月	出稿費	年賀協賛
他施設とのWEBリンク	随時受付	無料	
リリース	随時	無料	
パブリシティ	随時受付	無料	テレビ、ラジオ、新聞、情報誌、WEB

*その他施設パンフレット、市報、HP、自主作成チラシ（アグリ通信含む）、ポスター有

2) ホームページ

	R1年度		H30年度		増減		備考
	更新回数	閲覧数	更新回数	閲覧数	更新回数	閲覧数	
合計	135	123,042	142	121,425	-7	1,617	

3. 施設の管理状況に関する事項

①会議等

単位：回

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
職員全体会	2	10	-8	
正副館長会議	11	10	1	原則毎月
イベント等会議	12	0	12	原則毎月（本年度は上記職員全体会に含む）
出店者連絡調整会議	1	0	1	
その他	5	5	0	

②職員研修等

単位：回

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
職員研修等	5	4	1	延べ参加人数95人

4. 収支状況

「新潟市アグリパーク 令和元年度 収支状況報告書（平成31年4月～令和2年3月）」を参照

5. 自主事業・利用促進

自主事業売上

単位：円

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
視察料	163,000	213,000	-50,000	
自動販売機手数料	394,342	299,037	95,305	
その他収入	240,290	100,300	139,990	
合計	797,632	612,337	185,295	

6. その他

①利用者の満足度（アンケート）

単位：件

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
アンケート	134	156	-22	
満足度	99.2%	92.1%	7.1%	

②クレーム

単位：件

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
クレーム	3	5	-2	

②市内産業への貢献

項目	市内割合			備考
	R1年度	H30年度	増減	
再委託業者	100.0%	100.0%	0.0%	7社中7社
職員	93.1%	92.0%	1.1%	29人中27人

⑤地域・関連団体等との連携

単位：回

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
連絡調整会議等	12	20	-8	

④ボランティア

単位：人

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
ボランティア（述べ）	703	753	-50	

③社会貢献

単位：人

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
障がい者雇用（述べ）	51	102	-51	

以上